



発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

## 松阪・尾鍋組が開発 過程をまとめ出版

建設会社の尾鍋組(松阪市)が、小さく砕いた自然石で地盤を強化する「エコジオ工法」の開発過程をまとめた「住宅地盤イノベーション」地方の土木会社が挑んだ十七年の軌跡」を出版した。地盤への影響が少なく、環境に優しい新工法として、全国で施工数は二万件近くに達している。尾鍋哲也社長(五)は「今がスタートラインに立ったところ。さらに全国に広めていきたい」と語る。

(上井啓太郎)

尾鍋組は一九六二年創業で、道路など公共土木工事を主に手掛けている。二〇〇三年、新潟県の業者が開発した



エコジオ工法を開発した尾鍋社長＝松阪市

しかし〇六年、業者が倒産。アクパド工法は費用が高く熟練の技術も必要だったため、尾鍋社長はこの工法をベースに、安価で施工も容易な新工法の研究を始めた。地盤改良装置を製造するシ

# 自然石で地盤強化「エコジオ工法」



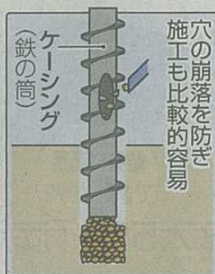
エコジオ工法を用いて地盤を補強している様子＝尾鍋組提供

施工数全国で2万件 シンエイテックや三重大院が協力

ンエイテック(四日市市)や三重大院の酒井俊典教授の協力を得て、試行錯誤を重ねながら、地面を掘るケーシング(鉄の筒)を新工法に合わせて開発し、エコジオ工法として実用化に成功した。今では三千以上の住宅会社などで採用されている。書籍では図や写真を交えながら、開発秘話を分かりやすく紹介している。

四日に松阪市内で出版記念会があり、尾鍋社長は、砕石はセメントや鋼管に比べて生産過程での二酸化炭素の排出量が少ないとして、「持続可能な社会が求められている。これを目指す上で、エコジオ工法は一つの選択肢となる」と訴えていた。

現在、全国の住宅の地盤改良の2〜3%がエコジオ工法という。尾鍋社長は「住宅工事だけでなく、公共工事の地盤改良も受注できるようにしていきたい」と意気込む。書籍は合同出版から、税抜き千五百円。県内の大型書店やネット通販で購入できる。



尾鍋組が開発した「エコジオ工法」